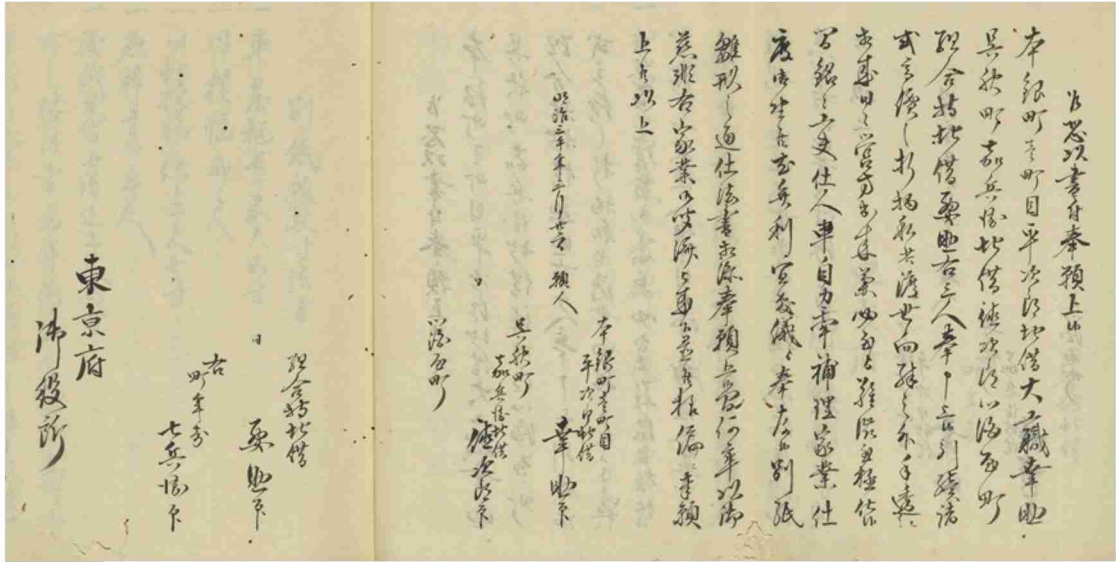


# 人力車の発明



「人車自力牽許可願」『府治類纂・27・庚午・舟車〈記録科編脩記〉』

市街地の新たな交通手段として人力車が登場したのは明治3年(1870)3月のことでした。

大工職幸助ほか2名が、「人車自力牽車」(人力車)を発明し、東京府に営業を出願したのです。東京府は実物を確認し、危険もなく便利であると政府へ報告しています。

人力車は、その後またたく間にその数を増やし、同5年には15,000両もの人力車が人々を乗せて東京の街を往来しました。



「人力車広告用引札」  
『東京市史稿市街篇 第五十一』